



まちのわだい

町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！



1/11



初心者スケート教室

寒さに負けず、いち・に

幕別運動公園スケートリンクで、小学2年生までの子どもを対象に初心者スケート教室を実施しました。

この日はワールドカップの出場経験があり、現在は選手兼コーチとして活躍する三輪準也さん(幕別町応援大使)が講師として参加。子どもたちはマイナス10度を下回る寒さに負けず、元気に練習しました。



1/9



企業版ふるさと納税

株式会社アルムシステムに感謝状

障がい者支援施設やホテルなどを経営する株式会社アルムシステム(帯広市)ほかグループ企業2社から、昨年度に続き、企業版ふるさと納税として100万円の寄附金を頂きました。「子どもが育つ、住みやすいまちづくりに役立ててほしい」と取締役次長の清信功之介さん。

寄附金は、高校生世代までの医療費を無料とする「子ども医療費助成事業」に活用させていただきます。

12/21



忠類アストロズ・忠類駐在所

特殊詐欺と交通事故に気を付けて

野球少年団「忠類アストロズ」の2人が忠類駐在所長と共に特殊詐欺と交通事故について防犯啓発運動を実施。近隣の住宅や店舗を訪問し、チラシやポケットティッシュを配布しながら注意を呼び掛けました。

また、動画も撮影し、地域おこし協力隊のSNSでも呼び掛けを行っています。



12/18



忠類小学校

ぬいぐるみの下げ札が完成!

株式会社AQUAの協力のもと、忠類小学校の児童が中心となって作製した下げ札が完成しました。下げ札には「かぼちゃプロジェクト」や「忠類ナウマン象」の紹介文が記載され、道の駅・忠類と円山動物園内のショップで販売されるゾウのぬいぐるみに付けられます。

この日は、小学校と関係機関をオンラインでつなぎ、販売開始の様子などをオンラインで共有しました。



1/19



アイスホッケー・スケート

4校20人が全国大会へ!

全道大会で優秀な成績を収め、全国中学校アイスホッケー大会(東京都)、全国中学校スケート大会(長野県)に出場する幕別中学校、札内中学校、札内東中学校、忠類中学校のみなさんが教育委員会を訪れました。

競技ごとに各校の代表が「チームの目標である全国優勝を成し遂げられるよう頑張ります(ホッケー)」「日本一を決める大会でベストを尽くします(スケート)」など、全国大会への抱負を語りました。

1/5



幕別町消防団出初式

防火・防災への誓い新たに

幕別町消防団(笹井守団長、団員134人)の出初式が行われ、式典に先立ち、団本部や各分団の団員105人が4年ぶりに町民会館前で分列行進を行いました。

式典では笹井団長の訓示に耳を傾け、防火・防災への誓いを新たにしました。また、消防に貢献した団体・個人が表彰を受けました。



12/28



札南ラビッツ(ミニバスケットボール)

十勝大会で準優勝、全道大会へ!

11月の十勝大会で準優勝した札南ラビッツのみなさんが、全道大会を前に教育委員会を訪れました。

十勝大会を振り返り、「苦しい試合を乗り越えて、2位という成績を残すことができました。チームプレーを意識して、全道大会で少しでも良い成績を残せるよう頑張りたいです」と主将の高橋侘奈さん。菅野教育長は「力いっぱいプレーで一つでも多く勝ち進んで」と送り出しました。



蓑島住雄さん
北海道産業貢献賞受賞

みのしま塗装(札内春日町)を営む蓑島住雄さんが、「卓越した技能者」として北海道から表彰を受けました。

蓑島さんは帯広地方高等職業訓練校で塗装技術の習得に励み、25歳の頃にみのしま塗装を創業。確かな技術と意匠性の高い施工に加え、帯広地方高等職業訓練校の指導員として後進の育成に努めるなど、多くの貢献が認められ、賞が贈られました。



▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

環境ナビ

防災環境課
地域環境係
(☎54-6601)

【続】地球温暖化について考える

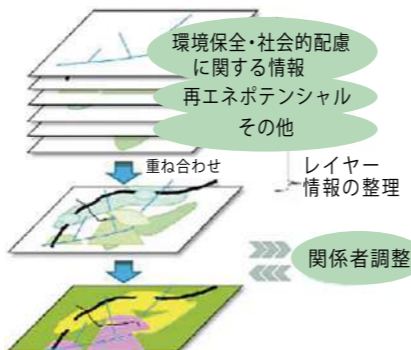
9～1月号では、「地球温暖化について考える」と題し、全5回にわたり町の地球温暖化対策に関する計画案の概要について紹介しました。加えて、パブリックコメントや住民説明会で町民のみなさんから計画案に関する意見も伺ったところです。その中で、町民のみなさんにもっと関心を持ってもらい、自分事として考えてもらえるように情報発信をしていく必要があると強く感じたところです。そこで、今月号ではゼロカーボンの実現に不可欠な「再生可能エネルギー(再エネ)」について、前号までの続編として紹介します。

◆町内での再エネ導入可能性を見える化「ゾーニングマップ」

ゾーニングマップとは、環境に配慮すべき事項や再エネポテンシャルなどの情報を1つの地図上にまとめ、そこから「自然・社会環境への影響が大きく導入を控える区域(保全エリア)」「導入に向けて調整が必要な区域(調整エリア)」「調整が必要だが事業の可能性のある区域(事業可能性エリア)」「自然・社会環境への影響が少ない導入に適した区域(促進エリア)」の4区域に色分けし、地域の再エネ導入可能性を見える化したものです。

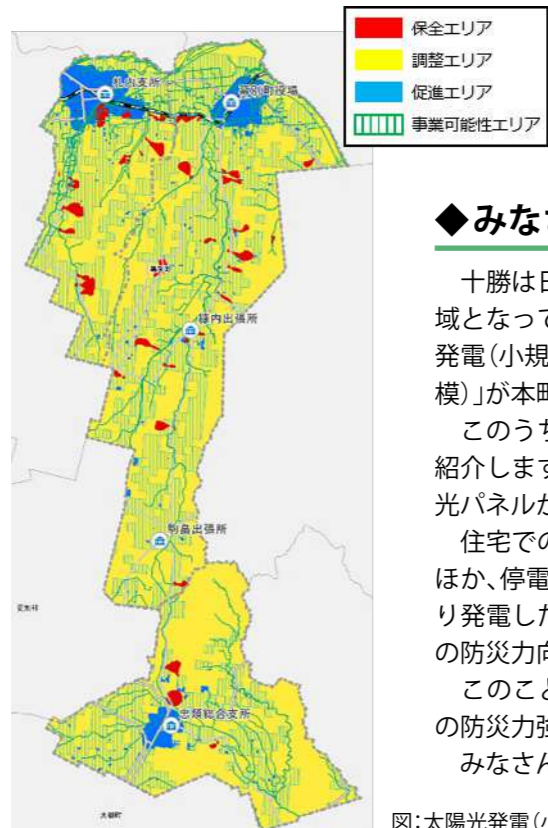
本町では、太陽光(屋根に設置する「小規模」・野立てする「大規模」)・陸上風力・木質バイオマス・畜産バイオマスの4種類の再エネについて、それぞれゾーニングマップを作成しました。

これは、事業者が再エネ事業を行う際の参考となるだけでなく、町民のみなさんに自身が住む地域ではどんな再エネが適しているかを知っていただくことを目的の1つとして作成したものです。



幕別町内全域(ゾーニング対象エリア)

<p>「保全エリア」</p> <ul style="list-style-type: none"> 法令等の指定から再エネ設備の立地が困難、または重大な環境影響や災害発生が懸念されるなど、環境保全を優先し、導入を抑制するエリア 	<p>「調整エリア」</p> <ul style="list-style-type: none"> 再エネ設備の立地に各種制約があるエリア 自然・社会環境へ配慮すべき事項が含まれ地域関係者や関係機関との調整が必要 <p>「事業可能性エリア」</p> <ul style="list-style-type: none"> 再エネ設備の立地に対して、地形的な立地条件が比較的良く、再エネポテンシャルがあるエリア ※自然・社会環境へ配慮すべき事項は調整エリアの条件に準ずる 	<p>「促進エリア」</p> <ul style="list-style-type: none"> 再エネポテンシャルがあり、自然・社会環境への配慮事項も少なく、積極的な導入を検討するエリア 特定地域で環境負荷が小さい再エネ導入が可能なエリア 地域関係者や関係機関との合意も得やすいエリア
---	---	--



◆みなさんも導入を検討してみませんか?～太陽光発電～

十勝は日射量が多い地域であり、幕別町も太陽光発電のポテンシャルが高い地域となっています。このことから、建物の屋根に太陽光パネルを設置する「太陽光発電(小規模)」や太陽光パネルを野立てして大規模に発電する「太陽光発電(大規模)」が本町での再エネ導入の主力と考えられます。

このうち、みなさんに身近となる「太陽光発電(小規模)」のゾーニングマップを紹介します。町内の広範囲を「事業可能性エリア」に設定し、さらに、町として太陽光パネルが普及してほしい市街地を「促進エリア」に設定しました。

住宅での太陽光発電は、電気代が高騰している中で毎月の電気代が抑制できるほか、停電時でも日中は家電製品を使用することができます。さらに蓄電池により発電した電力を蓄えることができれば夜間も照明に困らなくなるなど、家庭での防災力向上にも繋がり、導入するメリットが大きいです。

このことから、家庭での電力消費によって発生する二酸化炭素の削減と、地域の防災力強化の両面から市街地を「促進エリア」としたところです。

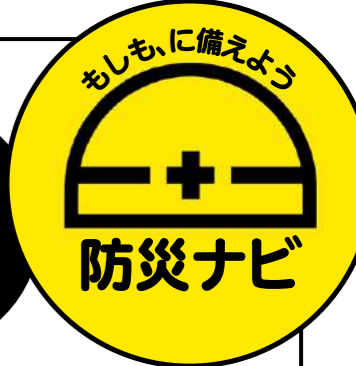
みなさんも住宅に太陽光発電を導入してみませんか?

図:太陽光発電(小規模)ゾーニングマップ
※町ホームページでは、カラー版をご覧ください。(トップページ>町政情報>広報>広報まくべつ(バックナンバー))

テーマ 停電に備える

長時間にわたる停電に備えよう!

防災環境課
防災危機管理係
(☎54-6601)



元日に発生した能登半島地震の影響で石川県を中心に大規模な停電が発生しました。幕別町においても令和4年12月22日からの大雪の影響で停電が発生し、特に忠類地域では復旧に丸1日以上を要したところもあります。

幕別町は寒さの厳しい地域です。冬に発生する停電は命に関わることもあり得ます。普段から、停電への備えをしましょう。

◆冬の停電では防寒対策が重要

平成30年に北海道で発生した停電(ブラックアウト)では、まだ気温の高い季節で防寒対策などは必要ありませんでした。

一方、冬に停電が発生した場合、対策がなければ命に関わります。電気の必要ない防寒対策を確認しましょう。

1. 停電時でも使える暖房器具の例

◇ポータブル石油ストーブ

▶マッチや電池で点火ができ、運転時に電気を必要としない。

◇カセットガスストーブ

▶入手しやすいカセットボンベで使用可能。

注意
・灯油やカセットボンベの備蓄が必要。
・一酸化炭素中毒を防ぐため、こまめな換気が必要。
・カセットガスは低温になると使用できない場合がある。



2. その他の防寒グッズの例

◇使い捨てカイロ

◇毛布

◇湯たんぽ

◇防寒シート



<ご案内>停電情報をLINEで確認できます

北海道電力ネットワーク株式会社では、停電情報をLINEで配信しています。

停電情報を受け取りたい地域を登録すると、停電発生・解消情報が送られてきます。地域は最大4カ所まで登録できますので、家族がお住まいの地域の情報も受け取ることができます。

北海道電力ネットワーク株式会社道東統括支店
お客さまサービスグループ (☎0120-06-0732)
※平日午前9時～午後5時



▶防災情報メール
二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録ください。

touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp



▶幕別町防災公式LINE
二次元コードを読み込み、「友だちに追加」で登録ください。

ID検索はコチラ⇒⇒@makubetsu

◆長時間にわたる停電への備え

停電が長時間にわたると生活にさまざまな影響が出てきます。情報収集や食事、トイレなど生活に欠かせないものの対策を紹介します。

1. 情報収集・連絡手段の確保

◇携帯電話・スマートフォンの充電

▶モバイルバッテリーや車で充電することができる機器を用意しておく有効。

2. 調理器具の確保

◇カセットコンロ

▶自宅に備え付けの調理器具(IHクッキングヒーター)が使用できない場合、カセットコンロで食材の調理やお湯を確保することが可能。

3. 照明器具の確保

◇懐中電灯・ランタン

▶・長持ちで明るいためLEDタイプのものが有効。
・家族1人につき1灯は確保しておく。
・予備の乾電池も備蓄しておく。

4. 自動車の対策

◇燃料が半分減ったら給油しておく

▶停電時でも、車内で暖房やラジオ、テレビを使用することができるため、こまめな給油を心掛ける。
▶給電機能のある電気自動車やハイブリッド車は、電化製品を使うことが可能。

5. その他の対策

◇発電機(室内では使用不可)

▶燃料を使用するため、携行缶やポリタンクでの備蓄が必要。
▶パソコンなどの精密機器を使用する場合は、インバーター式にする必要がある。

◇ポータブル電源

▶事前に充電しておく必要がある。

◇個別受信機用の予備乾電池